

2026年6月21日(日)

ハンズオンセミナー

9:00 ~ 12:00 | 第5会場 (ウインクあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

[HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

ハンズオンセミナー

9:30 ~ 11:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

ハンズオンセミナー

📅 2026年6月21日(日) 9:00 ~ 12:00 | 📍 第5会場 (ウイנקあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

協賛：株式会社松風、クインテッセンス出版株式会社

[HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

ハンズオンセミナー

2026年6月21日(日) 9:00 ~ 12:00 | 第5会場 (ウイंकあいち 6F 展示場602+603)

ハンズオンセミナー7 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

協賛：株式会社松風、クインテッセンス出版株式会社

| [HS7] 包括的補綴歯科治療に必須なペリオドンタルプラスチックサージェリー

*小田 師巳¹、*園山 亘¹ (1. 岡山大学)

キーワード：上皮下結合組織移植 (CTG)、歯槽堤増大術、歯肉造成術

患者が求める“審美”は高度化しており、補綴歯科治療の長期的な成功を得るには、補綴装置だけではなく、周囲軟組織に対する配慮が求められる。軟組織が経年的に変化することは経験的にも明らかであり、特に薄いフェノタイプでは外傷や炎症に対する感受性が高く、歯肉退縮のリスクが高いことが知られている。補綴歯科治療に着目した場合、クラウン装着そのものや歯肉縁下への介入によって歯肉退縮のリスクが高まることが報告されており、長期的に安定した周囲軟組織を得るには、軟組織の厚みを確保することが重要な要素のひとつであると考えられる。軟組織への介入手段であるペリオドンタルプラスチックサージェリーは、適切な診断に基づいて、適切な手技を用いれば、その効果はたいへん大きい。なかでも、上皮下結合組織移植 (connective tissue graft: CTG) は軟組織の厚みを増すための最も効果的な手技とされており、CTGによって造成された軟組織が長期的に安定しうることも多く報告されている。したがって、CTGを必要に応じて患者に適応できるスキルを持つということは、我々が行う補綴歯科治療が、患者に長期的に高い審美レベルで受け入れられるために必須であると言っても過言ではない。そこで、本セミナーでは、補綴前処置としてのCTGを用いた“天然歯周囲の歯肉造成術”と“欠損部位に対する歯槽堤増大術”を取り上げ、その背景と手技の再確認を行いたい。そのうち、“口蓋からの上皮下結合組織採取”と“上皮下結合組織を用いた歯槽堤増大術”について、ハンズオン実習を通して習得していただきたいと考えている。

ハンズオンセミナー

■ 2026年6月21日(日) 9:30 ~ 11:30 | 会場 第6会場 (ウイנקあいち 7F 展示場702+703)

■ **ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する**

協賛：株式会社ジーシー

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

ハンズオンセミナー

2026年6月21日(日) 9:30 ~ 11:30 | 第6会場 (ウインクあいち 7F 展示場702+703)

ハンズオンセミナー8 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

協賛：株式会社ジーシー

[HS8] 接着ブリッジを正しく理解し、より有効に活用する

*大谷 一紀¹ (1. 大谷歯科クリニック)

キーワード：接着ブリッジ、ジルコニアセラミックス、シングルリテーナー

前歯部一歯欠損では、パーシャルデンチャーや3ユニットブリッジ、インプラントが選択される一方、低侵襲治療を望む患者には受け入れられないことも多い。その中で、最小限の切削量で修復可能な接着ブリッジが有効な選択肢となる症例も少なくない。本ハンズオンでは、接着ブリッジ成功の鍵となる支台歯形成と装着操作に焦点を当て、日常臨床で即実践するための知識と技術の習得を目的とする。